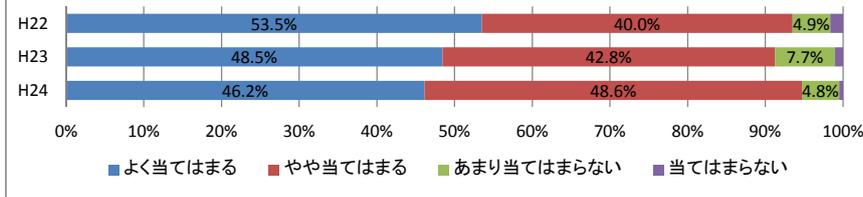


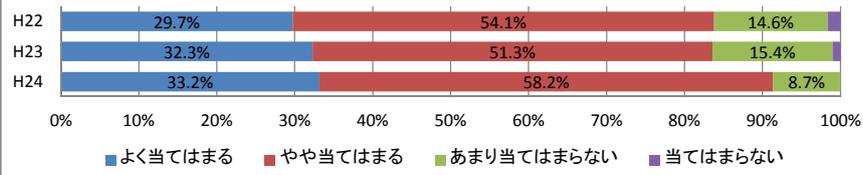
過去3年間の変化(児童)

1. あなたは学校が楽しいですか



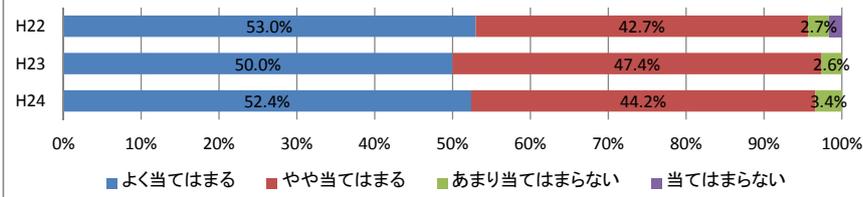
約95%の子どもたちが「楽しい」と答えている。わずかではあるが昨年度を上回っている。今後とも、自分の存在を認めてもらう場・活躍する場づくりに取り組み、さらによりよい人間関係づくりをめざします。

2. 自分からあいさつができていますか



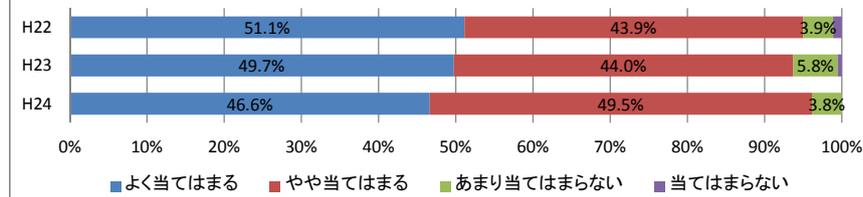
6年児童を中心に、あいさつ運動を行った結果、自分からあいさつをする児童が増えてきている。保護者に対するアンケートでも少しずつよくなってきているが、両者の間には大きな差異がある。立哨当番の人や、近所の人など、自分が知っている人に対して学校以外の場所でもあいさつができるよう指導していく必要がある。

3. 友達を大切に、仲良くできていますか



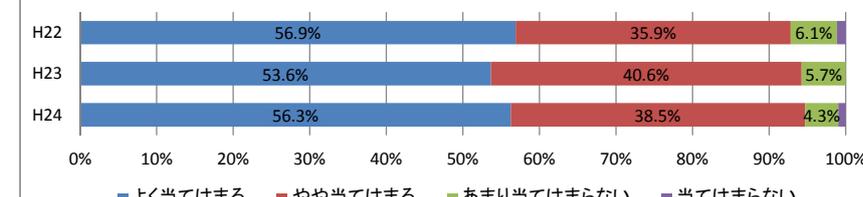
95%以上の子どもたちが「友達を大切に仲良くしている」と答えている。今後とも、友達を大切にしようとする心情を養い、互いを尊重する仲間づくりにしっかり取り組んでいきたい。

4. 先生はあなたのことを分かってくれていますか



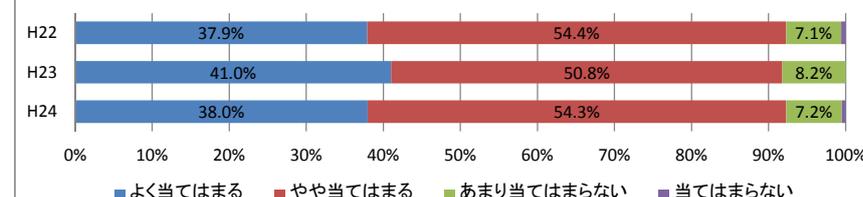
96%の子どもが「先生に分かってもらえている」と感じている。一人一人の教職員が、子どもたちの思いに寄り添い、個に応じた聞き方や話し方を工夫しながら、子どもが納得のいくまで話を聞くように心がけた結果だと考える。今後も継続していきたい。

5. 勉強(授業)はよく分かりますか



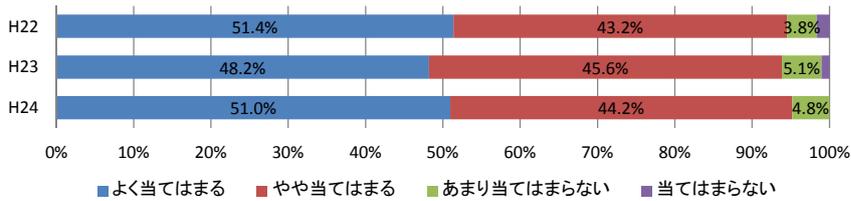
少しずつ「わかる」と答えた子どもの割合が増えている。教員一人一人が「よりよくわかる授業」のために研修を重ね、その子に応じた学習内容や方法等の工夫を加えながら、粘り強く取り組んできた成果が表れてきているものと考えており、今後もより一層力を入れていく。

6. 授業中先生の話きちんと聞いていますか



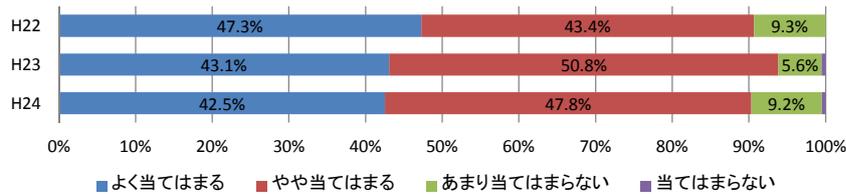
「よく聞いている」と答えている児童の割合が92.3%。学力を伸ばすための大切な力の一つに話を聞いたり、話したりすることがある。今後とも、学習活動のなかに他の人の話を聞き、それをもとに話し合う活動等を多く取り入れ、聞く習慣を定着させていきます。

7. みんなと協力してそうじをしていますか



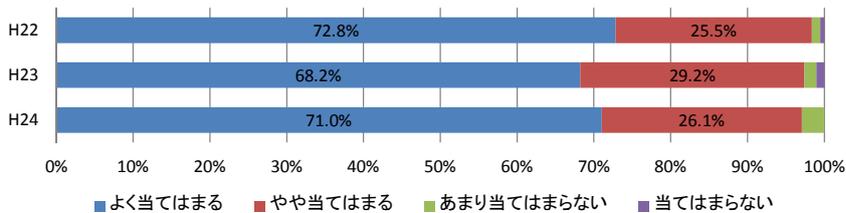
昨年度とほぼ同じアンケート結果であった。掃除等の当番活動を通して身につけるべきものは多くある。今後も粘り強く掃除や奉仕作業に取り組む子どもを育てていきます。

8. して良いことと、してはいけないことを、しっかり区別して、行動しようとしていますか



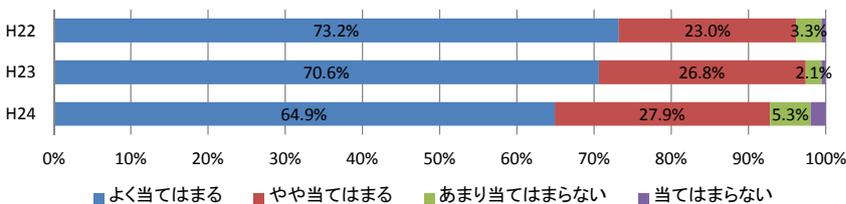
昨年度と少し質問の言葉を変えました。約90%の子どもが「善悪の判断をして行動している」と答えている。なお一層、人権教育や道徳教育を通して、きまりや約束を守ることの大切さについて発達段階に応じて指導していきます。

9. 交通ルールを守って、安全に登校できていますか



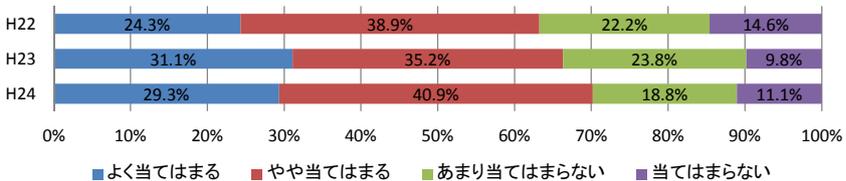
97.1%の子どもが「交通ルールを守って、安全に登校できている」と答えている。今後も、自分の命は自分で守るということを、学年の発達段階に応じて指導していきます。なお、安全に登校や下校ができるのも、朝の交通指導や公園パトロールをしてくださっているお家の方の応援、警察や地域の方、見守り隊の方々の協力があるからです。そういったことに対して、感謝の心をもたせていきたいと思いま

10. 地震や火事の時、不審者があらわれた時など、どうしたらよいか分かっていますか



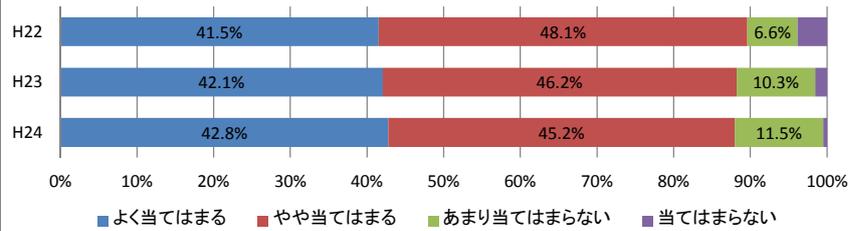
92.8%と昨年度と比べて下がっているが、避難訓練のやり方を工夫改善したことで、より真剣に考えた結果だろうと捉えている。東日本大震災の後、防災対策が学校の重要課題になっています。自分の命は自分で守ることのできる児童を育てるため、発達段階に合わせ継続的に指導していきます。

11. 給食は好き嫌いをしないで、残さずに食べていますか



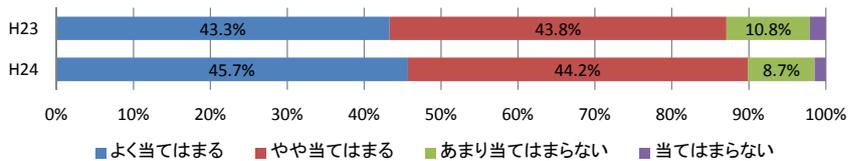
「やや当てはまる」児童が増えて「あまり当てはまらない」児童が減った。食に関する指導が充実してきたことなどが功を奏したのだと考えます。今後とも食物の栄養と健康の関係を、学年の発達段階に応じて指導し、家庭と協力しながら、栄養のバランスのとれた食習慣を身に付けるよう働きかけます。

12. お家でも時間を決めて、しっかり勉強していますか



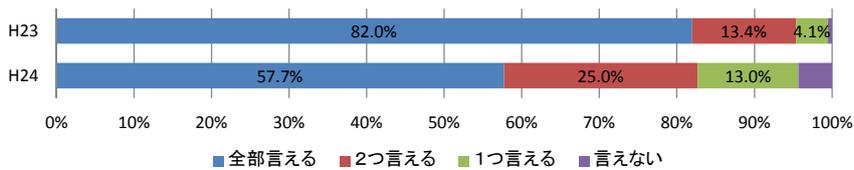
昨年度同様に比べ「よくしている」「している」と答えた子どもの割合が90%近くに達しており、良い結果である。今後とも「家庭学習の手引き」の見直しや、勉強が苦手な子どもにあった課題を課すなどして、「全くしていない」児童をなくしていくよう取り組んでいきます。

13. うまくできなくても、あきらめたりせずに、粘り強く取り組みますか



粘り強く取り組んでいると考えている児童が、約90%と、高い割合を示している。朝会などで、常に意識付けを図っている成果が出たのではないかと考える。

14. 内町小学校の3つのスローガンが言えますか



今年度から重点目標が変わったためか、低い結果に終わった。児童玄関や教室の前面など、児童の目に触れる場所に啓示するとともに、話の中で常に触れるように意識して指導するなどの工夫が必要である。